

平成 28 年度第 4 回やまがた出会いサポートセンター運営委員会

日時:平成 29 年 2 月 17 日(金) 13:30～

場所:山形県村山総合支庁 402 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1)報告

①出会い支援サービス事業システムリニューアルのポイント 1 ページ

②自分力 UP プログラム実施報告 別冊

③結婚・子育てポジティブキャンペーン実施報告 2 ページ

④センターのサービス利用者数 8 ページ

(2)協議

①平成 28 年度補正予算 (案) 10 ページ

②平成 29 年度事業計画 (案)..... 11 ページ

③平成 29 年度収支予算 (案)..... 14 ページ

①～③は総会付議案件

④出会い支援サービス事業等運営委託業務の企画提案の検討 別途

(3)その他

4 その他

5 閉 会

【活用依頼】 平成 29 年度結婚新生活支援事業費補助金

平成28年度第4回やまがた出会いサポートセンター運営委員会 出席者名簿

運営委員

所 属	氏 名	摘 要
山形市企画調整部次長兼企画調整課長	伊藤 浩之	【代理】課長補佐 岡道弘
米沢市教育委員会教育管理部社会教育・体育課長	梅沢 和男	【代理】生涯学習主査 高世琢
鶴岡市企画部地域振興課長	佐藤 光治	欠席
酒田市市民部まちづくり推進課市民交流推進主幹	岸谷 英雄	欠席
新庄市総合政策課長	小野 茂雄	【代理】主事 大泉菜々恵
東根市総務部総合政策課長	芦野 耕司	【代理】地域振興係長 高山陽
山辺町保健福祉課長	吉田 美智子	当日欠席連絡、委任状提出
最上町総務課政策調整主幹兼定住促進センター長	高橋 浩康	欠席
川西町まちづくり課長	鈴木 浩之	当日欠席連絡、委任状提出
庄内町情報発信課長	小林 裕之	欠席
山形県商工会議所連合会幹事	森 晃	欠席
山形県商工会連合会総務課長	菊地 薫	欠席
一般社団法人山形県労働者福祉協議会	佐藤 均	
社会福祉法人山形県社会福祉協議会常務理事	齋藤 哲也	【代理】事務局長 中沢秀夫
山形県農業協同組合中央会農業農政部	坂部 尚隆	欠席
(委員長)山形県子育て推進部長	飛塚 典子	

オブザーバー

(出席9名)

山形県最上総合支庁子ども家庭支援課子育て支援主査	鈴木千夏	
山形県置賜総合支庁福祉課企画調整主査	二瓶 秀憲	

事務局

山形県 子育て推進部	次長兼子育て支援課長	須藤 勇司	
	子育て支援課	課長補佐	倉金 誠
		少子化対策専門員	菊地 千恵子
やまがた出会いサポートセンター	所長	小笠原 正道	
	事務局員	渡邊 由紀子	
(株)山形街づくりサポートセンター	代表取締役	渡辺 隆博	出会い支援サービス 事業受託者
	主任	阿部 愛	
		栗原 安紀子	

出会い支援サービス事業システムリニューアルのポイント

その1 お相手検索の幅が広がりました

①お相手へのご希望ごとにこだわり度合いを0～100までの数値で自由に変えることができます。
こだわり度合いを緩やかにする（0に近づける）事で、出会いの幅が広がります。

②プロフィールを全会員（異性）に公開することができます。

プロフィール公開会員には条件が合致してなくても誰でもお引き合わせの申込みができます。

メッセージや写真で自身の魅力を広くPRし、条件だけではない出会いの可能性が広がります。

③今までどおり、お互いの希望が合致した出会いを望む方は①のこだわり度合いを“100”にしてあげればOK

※スタッフの説明を受けた方から順次利用できます。ご自身のマイページからいつでも自由に変更できます。

その2 プロフィールにお気に入りの写真を追加できます

基本情報に掲載した写真のほかに趣味や特技などを紹介するお気に入りの写真を掲載して、
 自身の魅力をしっかりPR。マッチングからお申込みへの可能性がアップ。

その3 マッチングしている方の人数をメールでお知らせします

今までは、自分からマイページにアクセスしないとマッチングの人数が確認できなかったため、“0人”が続くとモチベーションが下がり、アクセスをやめ、実質活動休止状態の方もおりました。マッチングした方がいても気がつかずにいたかもしれせん。



新規登録の方には、本登録後に何人マッチングしているかを通知。

その後は、マッチングしている人数が増えた時に通知。会員の婚活を活性化。

その4 当日予約ができます

センターへの来所予約は前日までしかできませんでしたが、当日の2時間前まで予約が可能になり、利用しやすくなりました。サービスの向上、センター利用の促進

その5 交際中は専用の電子掲示板を開設します

アドレス交換なしで気軽にお相手と連絡が取り合えます。

交際が進んだらお二人のタイミングでアドレスを交換していただくことになります。

その他、登録期間満了する会員へのお知らせメール機能、登録会員の現況や活動状況などのレポート、セキュリティ強化などを実施

結婚・子育てポジティブキャンペーン実施報告【インターネット広告】

- ・配信エリア 山形県、宮城県
- ・対象者 18歳～34歳の女性
- ・広告期間 7/15～H29.1.10 約6か月
- ・その他 各広告の配信回数は、毎月調整しながら実施

1. YouTube TrueView

素材：平成27年度作成の3分動画「いっしょのシアワセ」を配信

動画視聴後にキャンペーンサイトへ誘導

結果：視聴率15%超えが良好な広告の目安。

9～12月は20%以上をキープ

月	閲覧回数	視聴率
8	16,144	16.81
9	5,826	25.01
10	6,126	22.87
11	18,028	22.28
12	15,339	20.33
全期間	80,116	19.66

2. リスティング広告

(あるキーワードで検索した時に、検索結果に連動して表示される広告)

素材：やまがた出会いサポートセンターHPへ誘導

結果：視聴率1%超えが良好な広告の目安

9～12月は5%以上をキープ

月	HP閲覧回数	視聴率
8	344	3.96
9	384	5.75
10	319	4.43
11	364	5.63
12	341	6.10
全期間	2,034	4.93

3. ディスプレイ広告

(Webサイトの閲覧履歴などから対象者を絞りバナー広告を表示)

素材：キャンペーンサイトへ誘導

結果：視聴率0.2%超え概ね良好な広告の目安

全期間を通して0.4%以上をキープ

月	HP閲覧回数	視聴率
8	4,648	0.43
9	1,562	0.50
10	2,947	0.43
11	5,654	0.42
12	4,357	0.50
全期間	23,669	0.42

4. キャンペーンサイト閲覧数

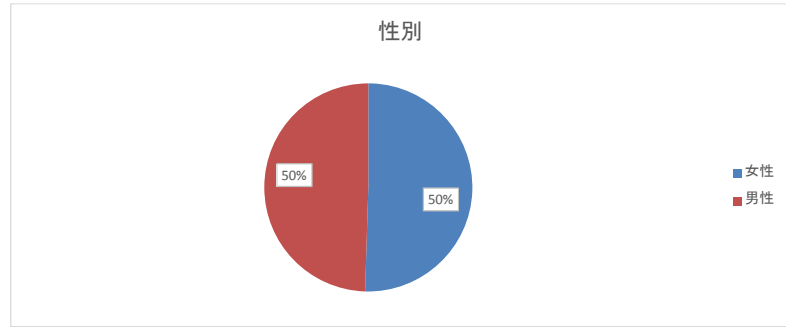
結果：キャンペーンとしての目的は一定程度達成できた。

キャンペーンサイトからセンターHPへの誘導には繋がらなかった。

月	HP閲覧回数	動画再生回数	センターHP閲覧
7	1,311	123	0
8	5,063	195	4
9	1,995	111	2
10	3,100	111	1
11	6,152	103	0
12	4,902	106	3
1	4,070	122	3
全期間	26,593	871	13

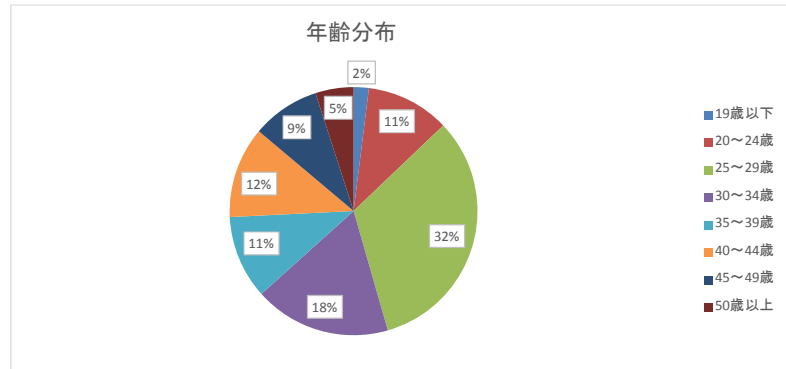
[Q1.性別をお聞かせください。]

行ラベル	性別
女性	51
男性	50
総計	101



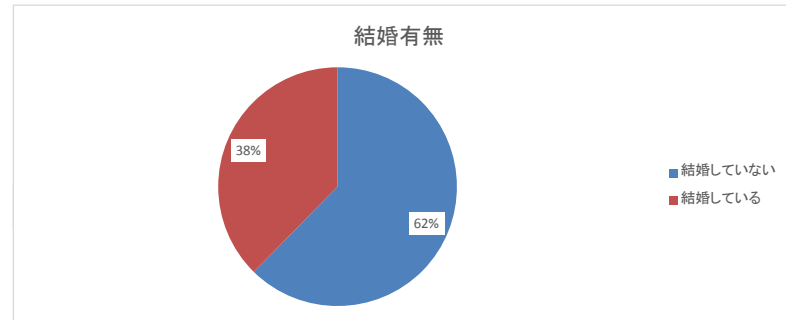
[Q2.年齢をお聞かせください。]

行ラベル	年齢
19歳以下	2
20～24歳	11
25～29歳	33
30～34歳	18
35～39歳	11
40～44歳	12
45～49歳	9
50歳以上	5
総計	101



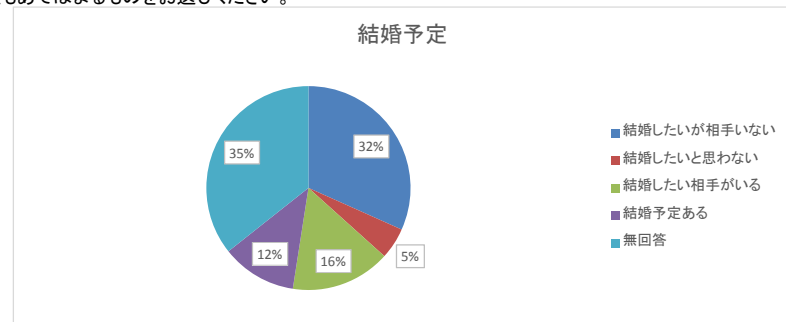
[Q3.現在、結婚していますか？]

行ラベル	結婚有無
結婚していない	63
結婚している	38
総計	101



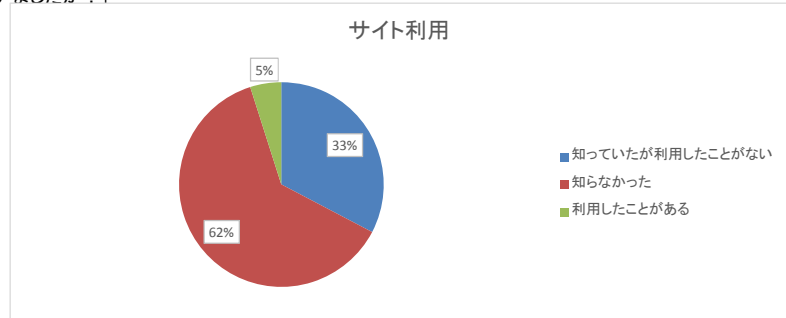
Q4.「結婚していない」と答えた方にお聞きします。最もあてはまるものをお選びください。

行ラベル	結婚予定
結婚したいが相手いない	32
結婚したいと思わない	5
結婚したい相手がいる	16
結婚予定ある	12
無回答	36
総計	101



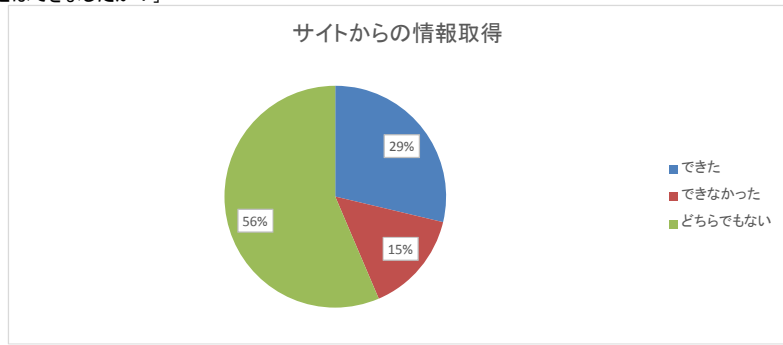
[Q6.このサイトを利用したことがある、または知っていましたか？]

行ラベル	サイトの利用
知っていたが利用したことがない	33
知らなかった	63
利用したことがある	5
総計	101



[Q7.このサイトから、あなたの知りたい情報を得ることはできましたか？]

行ラベル	サイトからの情報取得
できた	29
できなかった	15
どちらでもない	57
総計	101



Q8 サイトへの意見・要望

<高評価>

時系列順に地域別に婚活パーティー等の予定がまとめられていて、とても見やすく自分が参加できるものをすぐに見分けることが出来て使いやすかった。ビジュアル・構成など、きれいで共感が持てる。

山形で子育てしたくなるようなサイトになっていると感じました。

こんなストーリーのような素敵な恋愛がしてみたいです。

初めてサイトを閲覧し、改めて結婚することについて考えさせられました。

格好良い・かわいいアニメで描かれており紹介がとても見やすかったです。

私も素敵な結婚ができるように頑張ろうと思います。

アニメも素敵ですが、リアルな人たちの顔が見える動画なども見てみたい。

<PR不足>

紹介を受けるまでは知りませんでした。広告なども見たことがありません

もっと広く認知度を高める必要があるのではないかと思います。

県民への告知が不十分ではないかと思います。県の広報誌の他、テレビ・新聞・他 いろんな媒体を使ってみたらいかでしょうか。イベント等でもコーナー

TVやラジオでのCMや、ネット・動画内の広告などでもっとPRしたほうが良いと思う。このサイトや、事業をやっていること自体あまり知らなかったのです。

また、対象となるのは、婚活を考える20～30代だと思うので、よりその年代が触れる媒体(TVや雑誌、ネット...)を積極的に活用するべきだと思う。

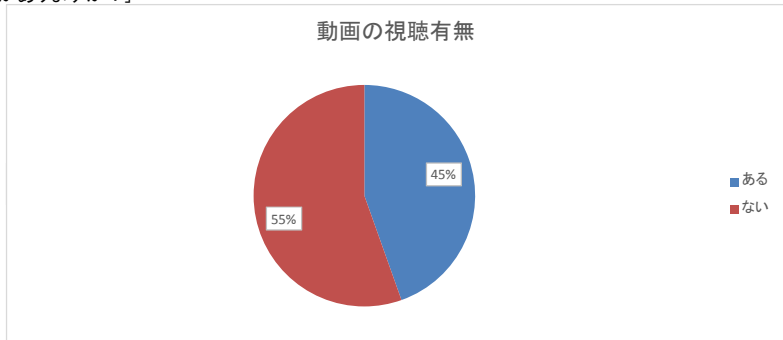
<学生への性教育の必要性>

妊娠についての卵子の数の変化は、私も30歳を過ぎるまでよく知りませんでした。結婚したら妊娠なんてすぐ出来る！と思っていたらそうではなく、

逆に晩婚だったために、なかなか子供ができずに苦労しました。中・高校生等への性教育ではこういった事もっと今後教えてほしいと実感しました。

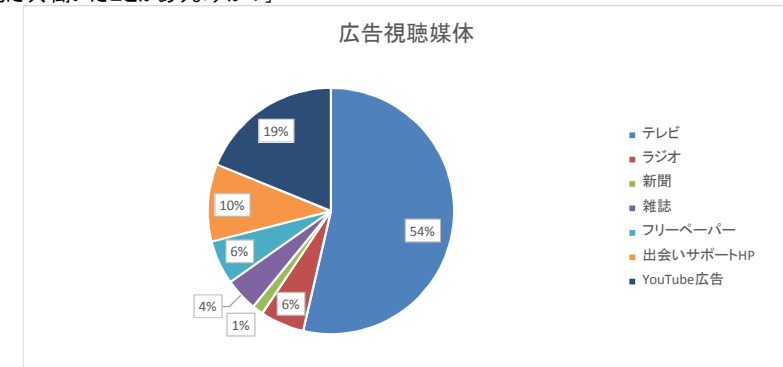
[Q9.視聴いただいた動画を見たり、聞いたりしたことがありますか？]

行ラベル	動画の視聴有無
ある	45
ない	56
総計	101



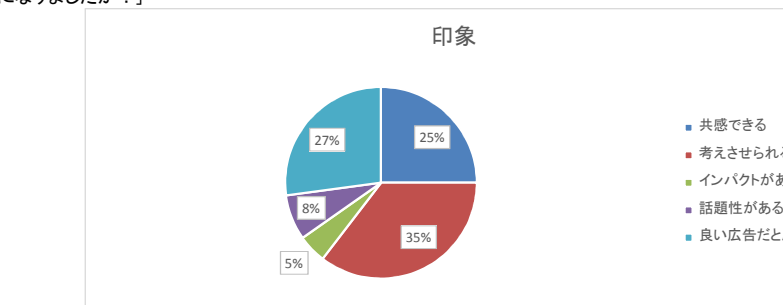
[Q10.あるとお答えいただいた方に質問です。何で見たり、聞いたことがありますか？]

媒体	
テレビ	37
ラジオ	4
新聞	1
雑誌	3
フリーペーパー	4
出会いサポートHP	7
YouTube広告	13
総計	69



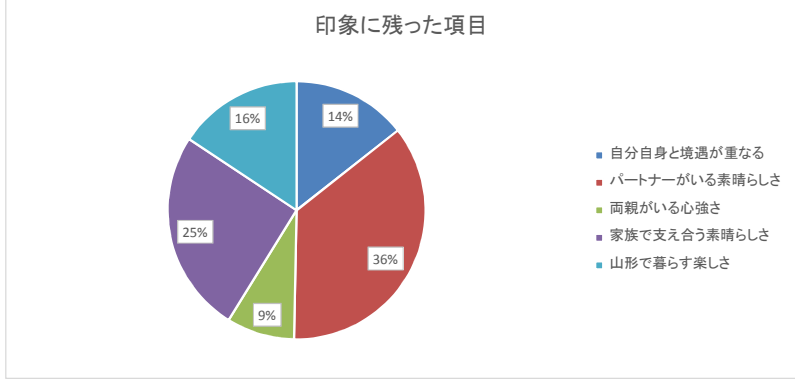
[Q11.映像をご覧になって、どのような印象をお持ちになりましたか？]

印象	
共感できる	36
考えさせられる	51
インパクトがある	7
話題性がある	11
良い広告だと思う	39
総計	144



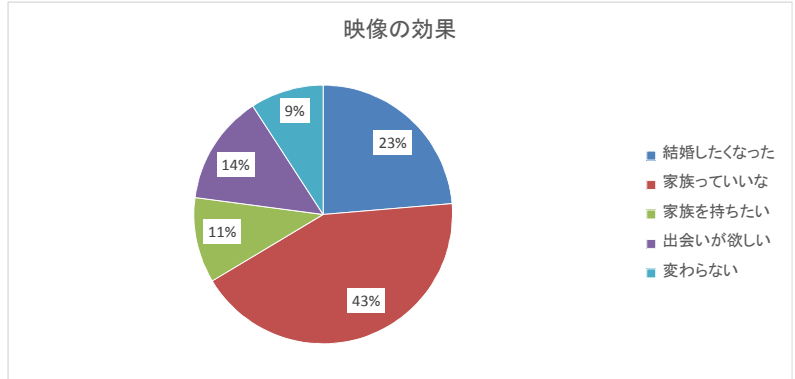
[Q12.映像をご覧になって、印象に残った項目はどれですか？]

値	
自分自身と境遇が重なる	22
パートナーがいる素晴らしさ	55
両親がいる心強さ	13
家族で支え合う素晴らしさ	39
山形で暮らす楽しさ	24
総計	153



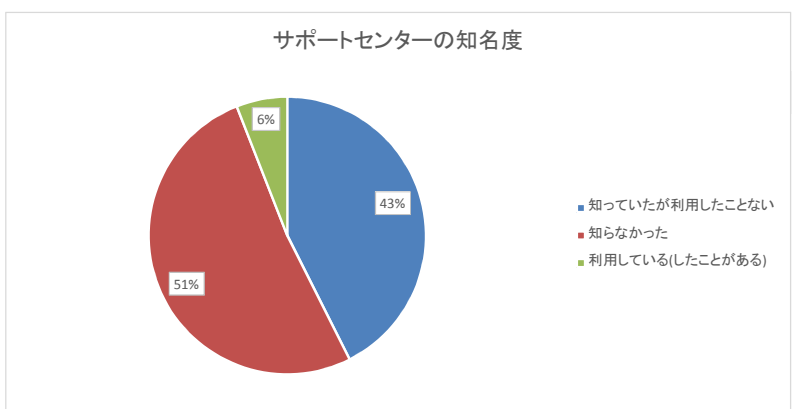
[Q13.映像をご覧になって、結婚や家族についてどのように思うようになりましたか？]

映像の効果	
結婚したくなった	31
家族っていいな	56
家族を持ちたい	14
出会いが欲しい	18
変わらない	12
総計	131



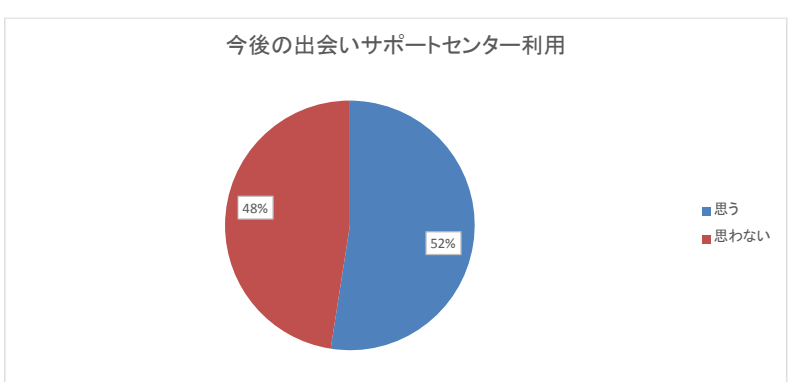
[Q14.やまがた出会いサポートセンターをご存知でしたか？]

行ラベル	出会いサポートセンターの知名度
知っていたが利用したことない	43
知らなかった	52
利用している(したことがある)	6
総計	101



[Q15.やまがた出会いサポートセンターを利用してみようと思いますか？]

行ラベル	出会いサポートセンターを利用し
思う	53
思わない	48
総計	101



Q16 思わない理由(相手がいる、既婚を除く)

<利用しにくい>

面倒そう。そもそも、お役所時間で運営されているのであれば、一般的な社会人はほぼほぼ手が出せないという…

友達にすすめるには、年会費がネックで勧めにくいです。

実は登録しようかとしばらく悩んでいます。登録しても年齢的に相手が見つからないという話や予約制で気軽にはいけないという感想を聞いているので…。

したいけど、勤め先が東京のため、どうしても変えられない。

<違う出会いを望んでいる>

ロマンチックに出会いたいので笑

出会いが無理矢理だと思う。生活圏の中での出会いが理想だと思うから。

自分自身で実践することだと思うから

<登録会員に関する不安>

どんな出会いがあるかわからず、不安がある。また、身近な出会いを大切にしたいと思う。

どんな人があるかわからず不安だから

抵抗があるから

「良い人」がいる感じがしない

<必要性がない等>

今のところ予定がないので

なんとかかなるかな

現状、利用する必要性がないから

今は必要ではないから

子供にはセンターがあることを話したいと思います。

Q17 山形県での結婚・出産・子育てについて意見・要望

<山形での子育て、結婚の良さ>

山形生まれの山形育ちなので、映像の中でも見覚えのある場所が出てきて、素敵だなと感じました。

このサイトを利用してとても素敵な方と出会えたので、大好きな山形でずっと一緒にいられたらいいなと思いました。

多世帯同居率の高い山形は非常に子育てに適していると思う。自分も含めその利点を生かしたい。

地元での生まれる、暮らす、地元で亡くなる。山形での結婚・出産・子育ても同じサイクルで回っているのだと思います。それは他県でも同じ事が言えるでしょう。

そのサイクルが山形でもっとも回るようにこういった企画やイベントはいいと思います。

もっと海外関係の仕事があれば帰ってきたい。山形に帰って根を張りたい。両親と一緒に暮らしたい。山形で生活したい。

サポート事業などよく目に入るので、子育ての環境が整っているように見えて羨しく思います。

夫とは転勤族で初赴任として山形県に移住しました。

山形市には二年居住させていただきましたが、夏に馬見ヶ崎川で自然や生き物と触れ合い心地よかったり、空気が澄んでいる為、喘息の発作が軽度になり、

ジャバプールが気軽に利用でき、色々な経験をさせる事ができると思い子育てに良いと思います。

又山形市は偏差値が高く環境に合わせて自然に勉強に励んでもらえると感じます。鶴岡市は若い方が標準語を習得する為の授業があるとき、その点もよいなと思いました

静かで、ゆったり、まったりとした空気でのびのび暮らしていけるので山形県での子育てはよいなと思います。

山形県の施策には共感できます。その内容の認知度をもっとも上げる必要があると考えます。

制度面等では、子育てしやすい環境にあると感じています。ただ町内会の集まりなどに出ると、重鎮の方からの、小さな子どもがいる共働きの家庭への目が

まだまだ厳しいものがあるような気がします。地域の集まりに共働きが理由で遅れて参加してしまったり、子どもの迎えの時間で相対したりなどであると、

「地域にお世話になっているのに…そんなに働いてまで…」とみられてしまいます。核家族の私たちは冷たい視線を感じています。

話を聞いていると出会いの場がないと感じる。

自然も多く子育てには良い環境ではあると思います。ただ、大きくなった時に保育園等都会よりも子供が少ない分問題ははでてるのかなと思います。

<働き方、経済面>

子育て世代の女性が働きやすい環境の整備。時短就業など、企業が導入しやすいように、補助金制度があればいいかとおもいました

結婚するにも子育てするにもお金は必要です。それなのに給与が全体的に少なすぎだと思います。それが1つの原因で結婚にいたらない事があるようです。

もう少し、賃金を上げるか手当があればいいのですが。

共働きしないと金銭的にも厳しく、二人目・三人目を考えられない人も多いと思う。

結婚も出産も子育ても、「働き方」、「仕事」と関係が深いので、働きやすく、仕事しやすくなってくると、結婚も子どもも増えてくると思います。

共働きの家庭が多いと思います。最近は塾に通う子供も増えていきますので、3世代で住むことでやりくりもしやすくなると思います。

また、山形に就職で残る子供さんも増えるのではと思いますので、奥さんが働きやすい環境を整備していただきたいと思います。

<県外転出>

大学進学した人の大半が県外から帰ってこない、若い人が減っていく現状を解決できない限り、山形県での結婚出産子育ての未来は暗い。

<子育て環境>

子育てサポートがもっともあればいい

県外からの転入者に対し、子育て・出産または病院などの情報を発信してほしい。

お互いが働きながら、子育てできる環境があるのか不安。保育園や幼稚園など、親のまかせられない家庭はどうなるのか、近いところに通えるかも分からず、不安だと思う。

東京に比べると、公立の幼稚園が少ないためか月々支払うお金がとても高いと思います。共働きをしている家庭でも月に4万円ぐらゐの支出になるとつらいのでは？

シングルマザーの応援、待機児童解消、保育料補助の拡大など

認可保育料の値上げが幅が一番高かったのが、利用者数の多い年収の世帯(生活に余裕がある年収の世帯とは思えません)なのはいかがなものかと思えます。

認可外の保育施設とほぼ変わらない料金というのも納得がいきません。

友達も結婚して子供を産んでおりますが、待機児童の問題や、子育てが不安だという声をよく聞きます。女性の子育て環境がよりよくなりますよう願います。

自分も含めてですが、山形県での結婚、出産、子育てががんばってほしい。ただそれをサポートする行政側にももっとがんばってほしい。

<出会いの場等>

山形で生活したいのですが、出会いの場が少なく、意を決して何度か出会いのイベントに参加してみましたが…条件の合う人がなかなかみつかりません。

大都市の方がイベントも多く、周りでも実際に出会えた人もいるので…外に出会いを求めざるを得なくなります。

もっと出会いがある場所があればよいとも思います。

コマーシャルは1回しか見たことがない。宣伝は行き届いていないと思う

センターのサービス利用者数（H29年1月末）

H29. 2. 17 事務局

■登録会員向け（H26年1月システム運用開始からの累計）

- ・登録会員延数 1,732人 ※会員現員数 1,593人
- ・お引き合わせ 1,179組 交際成立 384組 成婚 65組
- ・会員登録料割引制度(H28年7月～)の利用者
 - お友達割 12人 企業会員割 0人（企業会員1社）

■登録会員以外でも利用可（H27年度から）

- ・イベント情報メールマガジン登録者数 2,237人
- ・イベント情報収集・発信 1,639件
- ・発信したイベントへの参加者 20,370人、うち交際成立 1,554組
- ・婚活セミナー(センター主催)参加者 延140人
- ・出会いの総合相談窓口利用者数（H28年4月～）
 - 通常相談(電話・メール等) 555人
 - 専門家による対面相談(月1回) 15人 特別講座(11、12月) 31人
- ・企業間交流事業（H28年7月～）
 - 企業間出会いサポーター(世話焼き役)選出 18社・20人
 - サポーターによる企画イベントへの参加者 延51人

1対1のお見合い支援サービス事業 会員登録状況

【平成29年1月末現在】

	総数	女 性					男 性					
		計	20代	30代	40代	50以上	計	20代	30代	40代	50以上	
村山地域	山形市	468	192	50	103	33	6	276	24	102	121	29
	寒河江市	59	24	7	17			35	4	14	11	6
	上山市	57	13	5	7	1		44	3	18	17	6
	村山市	45	9	1	7	1		36	3	19	11	3
	天童市	103	29	7	17	5		74	10	28	29	7
	東根市	57	25	6	15	3	1	32	3	13	13	3
	尾花沢市	19	4		3	1		15	2	4	5	4
	山辺町	31	8	1	6	1		23	3	12	5	3
	中山町	19	6	2	4			13	1	10	2	
	河北町	31	11	2	8	1		20	1	9	9	1
	西川町	8						8		5	2	1
	朝日町	8	1		1			7	1	4	1	1
	大江町	9	2		2			7	1	2	3	1
	大石田町	8	3	1	1	1		5		2	2	1
計	922	327	82	191	47	7	595	56	242	231	66	
最上地域	新庄市	45	9	1	6	1	1	36	1	13	16	6
	金山町	2						2		1	1	
	最上町	7	1		1			6	1	4		1
	舟形町	4	1				1	3		1		2
	真室川町	8	2		2			6	1	3	2	
	大蔵村	2	1			1		1			1	
	鮭川村	5						5		2	2	1
	戸沢村	6						6		4	1	1
計	79	14	1	9	2	2	65	3	28	23	11	
置賜地域	米沢市	90	20	4	10	4	2	70	5	28	30	7
	長井市	26	4	1	2	1		22	3	7	8	4
	南陽市	34	4		2	2		30		14	12	4
	高畠町	19	3		3			16	2	11	3	
	川西町	28	3	1	1	1		25	4	8	11	2
	小国町	4						4	2	1	1	
	白鷹町	14	3	1	1	1		11	3	5	3	
	飯豊町	6						6		2	4	
計	221	37	7	19	9	2	184	19	76	72	17	
庄内地域	鶴岡市	166	35	6	17	10	2	131	5	59	48	19
	酒田市	106	35	9	20	5	1	71	4	26	29	12
	三川町	8	1			1		7	1	2	2	2
	庄内町	34	6	2	3	1		28	5	15	5	3
	遊佐町	16	2	1		1		14		5	6	3
計	330	79	18	40	18	3	251	15	107	90	39	
県内	1,552	457	108	259	76	14	1,095	93	453	416	133	
県外	41	16	3	10	3		25	1	10	11	3	
合計	1,593	473	111	269	79	14	1,120	94	463	427	136	

やまがた出会いサポートセンター
平成28年度補正予算 (案)

【収入の部】

単位：円

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	備 考
負担金収入	64,768,000	△1,636,000	63,132,000	
山形県負担金収入	62,470,000	△1,636,000	60,834,000	国庫不採択による減額
市町村負担金収入	2,238,000	0	2,238,000	
その他構成団体負担金収入	60,000	0	60,000	
雑収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	64,768,000	△1,636,000	63,132,000	
前期繰越収支差額	0	825	825	受取利息
収入合計 (B)	64,768,000	△1,635,175	63,132,825	

【支出の部】

単位：円

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	備 考
事業費	62,042,000	△1,636,000	60,406,000	
出会い支援サービス事業費 (マッチングシステム機能強化)	42,645,000		42,645,000	
出会いの相談窓口事業費	800,000		800,000	
企業間交流促進事業費	800,000	△280,000	520,000	国庫不採択による減額
結婚希望者の 婚活力向上支援事業費	5,040,000		5,040,000	
結婚・子育て ポジティブキャンペーン事業費	5,861,000	△1,356,000	4,505,000	国庫不採択による減額
事業推進費	6,896,000		6,896,000	
管理費	2,726,000	825	2,726,825	
予備費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	64,768,000	△1,635,175	63,132,825	
当期収支差額 {(A)-(C)}	0	△825	△825	
次期繰越収支差額 {(B)-(C)}	0	0	0	

平成29年度事業計画（案）

実施方針

- 機能強化したマッチングシステムの活用促進とコーディネーターのサポート強化により、1対1の出会い支援サービスをはじめとする利用者サービスを向上し、登録会員数の増加、出会い機会及び成婚数の拡大を図る。
- セミナー開催やきめ細かな相談対応による結婚希望者への支援と、企業との連携による社会人の交流機会の創出を充実し、県内イベント情報の収集・発信やセンター事業のPRとあわせて、センターの利用拡大を図る。

成果目標

➢システム利用の会員登録者数(新規+再登録)	600人/年
➢システム利用者のお見合い組数	540組/年
➢各種支援サービスを利用した成婚組数	50組/年

事業内容

1 出会い支援サービス等の利用者サービスの向上

(1) 本人直接検索型マッチングシステムの活用促進

- ・システム改修により機能強化した本人直接検索型マッチングシステムを運用し出会い機会の創出
- ・システムの周知広報と使い方アドバイスで会員の積極活用を促進しマッチング数の拡大

取組み例 登録会員あてメール配信、センター来所時に説明、ホームページで動画配信

(2) コーディネーターによるサポートの充実

【拡充】

- ・山形センターと庄内支所にコーディネーターを常駐配置し、お相手探しやお引き合わせ時のアドバイス、交際中の方へのフォローと後押しでお見合い件数と成婚数の増加

取組み例 登録会員あてメール配信、結婚支援協力者と連携

(3) マッチング率を維持する会員募集活動の強化

【拡充】

- ・センター事業のPRとあわせ、会員メリットを打ち出し会員サービスの正確な理解を得ながら、ホームページ・チラシ等による新規会員の拡大

- ・ 会員登録期間満了者に対し、メール・電話による継続の勧誘を行い再登録の促進
- ・ 会員構成の男女比の不均衡を解消するため、女性会員の勧誘を強化
- ・ 結婚支援者・団体との連携による結婚希望者への直接的な訴求
- ・ 会員登録料割引制度(お友達割、企業会員割)の活用促進

取組み例 システム機能強化によるマッチング率向上をPR、登録強化月間等の設定、登録プレゼント(抽選)、成婚者の声発信

(4) 地域バランスを考慮したサービス提供

- ・ 山形センターと庄内支所から遠方の最上・置賜地域にきめ細かな事業説明と出張閲覧・登録会等による会員の利便性向上と勧誘強化

取組み例 管内市町村や結婚支援団体を訪問して事業説明、出張閲覧・登録会の回数増(試行)

(5) イベント情報の収集・発信

- ・ 主催者が公的・民間を問わず、広く出会い創出イベントの情報収集
- ・ イベントをホームページ掲載やメールマガジン発行により情報発信
- ・ 情報収集・発信したイベントは参加者数・交際成立数等の極力把握

(6) 会員の安全安心の確保

- ・ セキュリティ確保と個人情報保護の徹底
- ・ 会員の心情に配慮したプライバシーの確保

2 結婚希望者のための婚活力向上支援

(1) 婚活力向上プログラム

- ・ 本人意識をスイッチする結婚希望者向けプログラムの実施
- ・ これまでの受講者の成果(成婚や交際成立)を打ち出し結果が出るプログラムとして募集活動を強化

取組み例 結婚支援団体等と連携し個人の参加を後押し

(2) 出合いの相談支援

- ・ 電話やメールでのコーディネーターによる日々の相談対応(相談者の履歴管理も検討)
- ・ 出合いから結婚まで進展度合い別のきめ細かな相談に対応
- ・ 結婚支援専門家等と連携したより高度な相談対応と、必要に応じ個別の相談の実施

取組み例

専門家による後方支援体制、スキルアップ研修、ケース検討

3 企業との連携による独身者交流の促進

(1) 企業間交流の拡大

【拡充】

- ・各企業から選出された「企業間出会いサポーター」による同僚の人柄を考慮した出会い機会の創出
- ・目的を共有した活動等を行いながらの主体的な企業間交流会の実施
- ・サポーターのネットワークを拡大し、現在の村山地域中心の取組みを県内各地域での展開

取組み例

1対1企業間の交流会、異業種交流会、料理教室や手工芸品製作などの共同作業

(2) 企業間出会いサポーター選出企業の拡大

- ・企業間交流の取組みのPRや取引先企業の参画等で、サポーター選出企業の拡大
- ・企業に限らず業界団体や同業組合としての参画や、経済・商工団体等の協力を得てサポーターの輪の拡大

4 センター事業のPR強化

(1) 普及広報

- ・センターの認知度向上と事業の正確な理解促進のため、ホームページやパンフレット等を活用した情報提供の充実
- ・テレビ、インターネット、情報誌等ターゲット層に届く媒体を活用した広告
- ・企業・団体訪問や各種イベント等における広報活動の実施
- ・山形で結婚、出産、子育てすることの良さを伝えるポジティブキャンペーンによる意識醸成

取組み例

フリーペーパー、インターネット広告

(2) 催事等様々な機会を活用したPR

- ・若い世代が集まる催事に協賛・出展してセンター事業の周知
- ・センター構成団体やイベント活動団体と連携した周知広報

やまがた出会いサポートセンター
平成29年度収支予算（案）

【収入の部】

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
負担金収入	52,114,000	64,768,000	△12,654,000	
山形県負担金収入	49,816,000	62,470,000	△12,654,000	
市町村負担金収入	2,238,000	2,238,000	0	
その他構成団体負担金収入	60,000	60,000	0	
雑 収 入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	52,114,000	64,768,000	△12,654,000	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	52,114,000	64,768,000	△12,654,000	

【支出の部】

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
事業費	49,388,000	62,042,000	△12,654,000	
出会い支援サービス事業費	37,115,000	42,645,000	△5,530,000	
企業間交流促進事業費	1,012,000	800,000	212,000	
出会いの相談窓口事業費	300,000	800,000	△500,000	
結婚希望者の 婚活力向上支援事業費	2,488,000	5,040,000	△2,552,000	
センターPR強化事業費	1,577,000	5,861,000	△4,284,000	H28結婚・子育て ポジティブ キャンペーン事業費
事業推進費	6,896,000	6,896,000	0	
管 理 費	2,726,000	2,726,000	0	
予 備 費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	52,114,000	64,768,000	△12,654,000	
当期収支差額 {(A)-(C)}	0	0	0	
次期繰越収支差額 {(B)-(C)}	0	0	0	

14 孫育て交流サロン創設事業費補助金
15 結婚新生活支援事業費補助金

について

子育て推進部子育て支援課

	14 孫育て交流サロン創設事業費補助金	15 結婚新生活支援事業費補助金	
		国庫補助分	県単上乗せ分
目的	三世代同居・近居などで育児を支えている祖父母世代が、相互交流しながら子ども達と世代間交流を定期的・継続的に行う拠点の創設に取り組む市町村等を支援する。	主に 20 歳代などで経済的理由から結婚に踏み出せないといった低所得者の結婚の希望を早期に実現するため、結婚新生活の後押しに取り組む市町村を支援する。	
事業主体	市町村、自治会、社会福祉法人、NPO等	市町村	
対象経費	拠点創設に必要な施設改修費、遊具整備・備品購入費等	結婚に伴う新居の住居費(購入費、家賃、共益費、敷金・礼金、仲介手数料)、引越し費用 上限 300 千円	
条件	—	世帯の所得が 3,400 千円未満の世帯	
補助率	市町村が事業主体の場合：1 / 2 その他が事業主体の場合：10 / 10	3 / 4 市町村の負担額 60 千円	定額 市町村が国庫補助分 を超えて補助する場 合に限る。
事業費上限額	1,000 千円（備品購入のみは 500 千円）	240 千円	60 千円 県 10/10
H29 県予算(案)	4,500 千円	12,000 千円	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は 1 市町村 1 ヶ所を優先的に進め県内展開を図る予定（10 市町村で創設済み） ・事業の普及促進を図るため“孫育て”の有用性や取り組み事例に関する説明会を開催予定（7 月頃） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築や中古住宅の購入、公営住宅への入居、実家に入る場合の引越し費用、アパート契約の初期費用に限らず月々の家賃(上限額まで)など、多様な費用で活用可 ・管外からの転入者限定、独自の住宅支援策との併用など、市町村の人口政策と一体化して活用可 	